

# 令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 大月市社会福祉協議会



## 事業報告目次

1	法人運営事業	( 1 )
2	地域福祉推進事業	( 5 )
3	市受託事業	( 8 )
4	県社協受託事業	( 1 6 )
5	共同募金配分事業	( 1 6 )
6	福祉金庫基金	( 1 7 )
7	介護保険事務運営	( 1 8 )
8	介護保険訪問介護事業	( 1 9 )
9	介護保険通所介護事業	( 2 2 )
10	介護保険居宅介護支援事業	( 2 3 )
11	障害者サービス事業	( 2 4 )
12	地域支援事業	( 2 4 )
13	ふたば保育園事業	( 2 6 )



## 令和3年度 事業報告

### 事業の実施概要

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、人が多く集まる社協事業やふれあい・いきいきサロンなどをはじめとする地域活動の全てを再開していくことはできませんでした。しかし、そのような状況の中、地域活動の実施方法の変更や工夫により、人とひとのつながりを途切れさせないような活動をするところも多くでてきており、そのことを知らせ広めていくことを展開しました。

そして、県社協より受託している「福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）」や大月市から受託している「生活支援体制整備事業」「生活困窮者自立相談支援事業」などの事業を活かし、個別支援に留まらず、事業を通じて地域づくりを進めていくことを意識し、地域福祉の推進に努めました。

また、当会が運営する介護保険3事業（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・通所介護事業所）においては、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じ、市民の目線に立った介護サービスの提供に努めました。

### 1 法人運営事業

#### (1) 役員及び会議

##### ①役員

令和3年度役員（理事・監事）は次のとおりです。

令和3年度役員		令和3年度退任者	
役員名	氏名	役員名	氏名
会長	和田昌弘	理事	佐々木幸三
副会長	小俣一彦		
〃	小宮文男		
〃	安藤睦美		
理事	飯島貞夫		
〃	小林幹夫		
〃	藤本兼三		
〃	畠山哲薫		
〃	青柳 薫		
〃	小俣理美		
〃	蜂須賀所明		
〃	小俣民男		
〃	白川恵子		
〃	小池頼行		
〃	久保田一正		
監事	山口和義		
〃	永岩尊暢		

②会議

ア 理事会

開催年月日（出席者数）	会 議 内 容
令和3年 5月27日 (理事13名・監事2名)	① 会長の職務執行状況の報告 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 2 令和2年度大月市社会福祉協議会事業報告について 3 令和2年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 4 理事並びに監事候補者の選任案について 5 評議員候補者の推薦について 6 令和3年度大月市社会福祉協議会定時評議員会の招集について 7 評議員選任・解任委員会委員の選任について 8 令和3年第1回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
令和3年 6月15日 (理事11名・監事2名)	1 会長・副会長・常務理事の選定について 2 顧問の選任について
令和3年10月18日 (理事13名・監事0名)	1 令和3年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号(案)について 2 評議員候補者の推薦について 3 令和3年第2回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について 4 令和3年第4回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和4年 1月27日 (理事12名・監事2名)	① 専決第1号 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 2 令和3年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号(案)について 3 令和4年第1回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和4年 3月18日 (理事12名・監事2名)	① 会長の職務執行状況の報告 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会臨時的任用職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について 3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 4 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護職員等手当の支給基準等に関する要綱の制定について 5 役員等賠償責任保険契約について 6 令和3年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号(案)について 7 令和4年度大月市社会福祉協議会事業計画(案)について

	8 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計予算（案）について
	9 令和4年第2回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について

イ 評議員会

開催年月日（出席者数）	会 議 内 容
令和3年 6月15日 (17名)	1 令和2年度大月市社会福祉協議会事業報告について 2 令和2年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 3 理事並びに監事の選任について
令和3年10月29日 (30名) ※決議の省略	1 令和3年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号（案）について
令和4年 2月10日 (30名) ※決議の省略	1 令和3年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号（案）について
令和4年 3月30日 (30名) ※決議の省略	1 令和3年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号（案）について 2 令和4年度大月市社会福祉協議会事業計画（案）について 3 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計予算（案）について

※ ○数字の内容は報告事項。

## (2) その他

### ①社協に対する寄附金ならびに寄附物品

次の方々や団体から浄財が寄せられました。寄附金については、社協福祉基金に積立を行いました。必要に応じ、地域福祉に係る事業等へ有効活用させていただきます。

年 月 日	氏 名	金額(円)	物品の場合の品名
R3. 7. 1	匿名	5,000	
R3. 7. 21	匿名	5,000	
R3. 7. 30	三枝重夫	50,000	
R3. 8. 16	匿名	6,800	
R3. 9. 7	白井温工	100,000	
R3. 10. 26	匿名	5,000	
R3. 10. 28	匿名	10,000	
R3. 12. 14	匿名	90,000	
R3. 12. 23	宮下文男	3,000	
R4. 2. 15	北里三千雄	16,965	
R4. 2. 25	匿名	100,000	
R4. 3. 14	匿名	3,000	
	合 計 ( 1 2 件 )	394,765	

(敬称略)

◎ どんぐり牧場のご厚意を受け、牧場でとれた卵を昭和59年5月より、市内の一人暮らし虚弱老人に配布しています。  
令和3年度は15名の対象者に約月2回、年間約360パック(1パック8個入)、ホームヘルパーを通じ贈らせていただいております。

### ②苦情内容及び解決結果の公表について

令和3年度 0件



## 2 地域福祉推進事業

### (1) 地域福祉活動事業

#### ①大月市地域福祉推進大会（社会福祉大会）

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策を講じた中で、長年に亘り、地域における社会福祉に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表しました。

- ・実施日 令和3年11月19日（金）
- ・場 所 大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール
- ・内 容 表彰式（被表彰者数 個人13名）

#### ②各種団体助成事業

各種諸団体が行なう独自の福祉活動等に対し助成を行い、地域福祉の推進に努めました。

大月市障がい者福祉の会	70,000 円
地区社会福祉協議会（3地区）	160,000 円

\*地区社会福祉協議会への助成金は、共同募金と合わせて実施

#### ③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的としており、それらの方が地域において自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行なうものです。

実施主体は、各都道府県社会福祉協議会（山梨県社会福祉協議会）であり、基幹的社会福祉協議会として委託を受け、専門員を設置し、利用者に対する具体的な相談、援助、監督を行い、利用者本人との契約締結により生活支援員が利用者の通帳他書類などを預かり、日常生活における金銭の管理（公共料金などの支払代行、金融機関での手続きの代行、預金払戻しや福祉サービスの利用料の支払い手続きの代行）を行ないます。

また大月市において実施した市民後見人養成講座の受講修了者の方々に市民生活支援員として、7名の方に活動していただいております。

令和3年度においては、知的障がい者6名、認知症高齢者3名、精神障がい者6名、その他1名、計16名への支援を行ないました。

令和3年度 利用及び相談件数

対象	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	168	262	319	22	771

#### ④ふれあい・いきいきサロン推進事業

ふれあい・いきいきサロンは、一人暮らしの方や高齢者、地域住民が徒歩で気軽に行ける場所に集い、孤立や孤独を防ぎ仲間づくりにつなげる現代風「お茶のみ会」です。

大月市内では、現在55サロンあり、各サロンの独自性を活かしながら活動しています。

1サロンにつき年2回程度、担当の職員がサロンへ訪問し、レクリエーションやお茶飲みを通じ、サロンや地域の課題把握に努める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により活動を中止したサロンが多く、訪問はあまり実施できませんでした。各地区のサロンの登録数等は次のとおりです。

・サロン登録数55箇所／社協職員派遣回数5回程度

地区名	サロン数	増減	登録者数
笹子	5	±0	96
初狩	0	-3	0
大月	7	-1	217
賑岡	6	-1	151
七保	14	±0	296
猿橋	11	-1	168
富浜	5	±0	88
梁川	6	±0	107
子育て	1	±0	30
合計	55	-6	1,153

## (2) ふれあい福祉推進事業

### ①ふれあい福祉バザー

住民生活に密着した福祉事業に取り組むための自主財源の確保を目的として「ふれあい福祉バザー」を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

### ②友愛訪問活動事業

一人暮らし高齢者等の安否確認や話し相手などを目的として、地区民生委員児童委員に訪問の協力をお願いし実施しました。

地区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合計
対象者数 (3月末現在)	14	13	12	9	15	18	1	12	94
延べ対象者数	181	166	183	96	197	221	12	150	1206

### ③ファーストスプーン事業

生後6ヶ月までの赤ちゃんがいる家庭へ、各地区の民生委員と主任児童委員がご家庭訪問し、子育ての悩みをお聞きし、子育て支援に関する情報等を周知しながら、赤ちゃんの名前と生年月日を刻印した県産の木の手作りスプーンをプレゼントする、ファーストスプーン事業を実施しました。

(令和3年度配布数)

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数	1	3	11	5	4	18	6	0	48

申請によるスプーン作成であるため、年度出生数には誤差がありますが、昨年度より18名の減少となりました。

### (3) ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動や市民活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介をしています。ボランティア団体等の活動支援や、ボランティア体験プログラムの実施、ボランティア活動関係団体との連絡・調整、活動の普及、活動中の事故に備えてのボランティア活動保険加入促進等を行うことを通じて、活動を推進しています。また、学校や地域の様々な場面ですすめられる「福祉教育」の推進・支援をしています。

#### ① ボランティアセンター活動事業

##### ア 相談・登録・斡旋事業

- ・ボランティア（個人・団体）受付
- ・相談、ニーズに応じたボランティアの斡旋（施設・学校等）など
- ・ボランティア相談（登録、ニーズ、斡旋、福祉講話・教育、ボランティア活動・ボランティア行事用保険加入相談・事故対応）

##### □ ボランティア登録団体

- ・大月市ボランティア協議会・初狩地区ボランティア協議会・七保地区ボランティア協議会・猿橋地区ボランティア協議会・富浜地区ボランティア協議会・梁川地区ボランティア協議会・点字サークル八重桜会・手話サークル山百合・おおつきお助け隊・絵手紙教室ボランティア・車いすレクダンス「矢車草」大月支部・童謡サークルわらべ・傾聴ボランティアつゆくさ・音訳ボランティア聲・手話奉仕員・いずみ会・わんにゃん隊・まちなかカフェまどい・チームゆりヶ丘・Vおいわけ清流会・DPLS-JAPAN・観光ボランティア

##### □ 個人で登録活動しているボランティア会員225名

##### イ 広報・啓発事業

- ・大月市社会福祉協議会、大月市ボランティアセンター「社協だより・ボランティアだより」全戸配布によるボランティア情報の発信を年間4回行いました。

##### ウ ボランティア養成講座・研修の開催

	講 座 名	回 数	延人数
①	手話奉仕員養成講座基礎課程（半期のみの開講） （R3. 4月～10月）	20回	248名
②	夏休み親子ボラ活体験（GW、夏休み計画→中止）	0回	
③	傾聴ボランティア講座	3回	29名

エ 大月市ボランティア活動普及協力校事業

学 校 名	内 容
大月市立初狩小学校	米・わらじづくり・峠越え等
大月市立大月東小学校	地域・先輩からの学習等
大月市立七保小学校	福祉講話・教育等
大月市立猿橋小学校	農業体験・福祉講話・命の学習等
大月市立鳥沢小学校	地域講師による授業等
大月市立大月東中学校	大月探検・愛町作業等
大月市立猿橋中学校	愛橋作業・地域学習等
山梨県立やまびこ支援学校	地区公園整備、カフェオープン準備等
フリースクールオンリーワン	農作業・カフェ勤労体験・福祉講話
山梨県立都留高等学校	探究プロジェクト事業等
自然学園高等学校	地域行事協力・福祉体験・追分人形

オ 福祉教材、体験用具の貸出及び福祉講話の講師派遣（高齢者疑似体験・視覚障害体験・点字練習器・アイマスク・録音図書、手話・点字指導など）

カ ボランティア協議会事務局業務

キ 県内、市内各種行事への参加呼びかけとコーディネート

ク 収集ボランティア活動推進（使用済み切手・ペットボトルキャップなど）

寄付先（古切手→（福）ぶどうの里勝沼授産園、ペットボトルキャップ→NPO法人エコキャップ推進協会、プルタブ・アルミ缶・ハガキ→ボランティアセンター、牛乳パック→就労支援事業所めばえ）

ケ 災害時の協定締結（一般社団法人大月青年会議所、公益社団法人東部広域シルバー人材センター）

### 3 市受託事業

#### (1) 在宅介護支援センター運営事業

##### ①地域支援事業

ア おおつきお助け隊フォローアップ講座（介護予防・生活支援サポーター養成講座）

おおつきお助け隊養成講座を受講した方を対象に自分たちの行っている活動の意義等を再認識するとともに、自分たちのこれまでの活動を振り返り、隊員たち同士で共有することでお助け隊の活動がさらに飛躍することを目的に実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため2グループに分けて実施しました。

受講者 3/14（月）午前12名 午後14名

日 時	内 容 等
3月14日（月） 10：00～11：30	①【講義】「地域での支え合い活動の重要性」 【講師】公益財団法人さわやか福祉財団 鶴山 芳子 氏

3月14日(月) 13:30~15:00	②意見交換会 「お助け隊の現状について」 隊長 小宮 文男
-------------------------	----------------------------------

## ②包括的支援事業

### ア 地域包括支援センターランチ型総合相談窓口事業

地域包括支援センター（大月市）を補完する形で地域における窓口機関として、市からの委託を受け、市内に居住する65歳以上の高齢者や障がい者等の総合相談に応じました。

また、相談内容は、生活支援や日常生活におけるちょっとした困りごとの相談が多く、地域や関係機関、各種団体等と連携を図り、問題の解決に取り組みました。

#### 相談内容及び件数

内 容	件数
福祉自動車利用に関する相談	20
車イス利用に関する相談	44
在宅福祉サービスに関する相談 (友愛訪問事業・オムツ支給事業・介護予防事業 他)	28
介護保険・権利擁護制度に関する相談(制度の内容や申請等)	19
生活支援に関する相談(お助け隊の利用他)	93
合 計	204

※合計204件のうち新規相談132件 継続相談72件

### イ 生活支援体制整備事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるように地域の支えあい・助け合いの意識の啓発を図り、地域の多様な主体が連携を図れるような体制の整備を推進しました。

#### ・地区組織活動推進委員会の開催の開催

地区組織活動推進委員会を開催し、10地区社協の社協において、情報の共有を行ないました。また地域の困りごとなどの情報交換を行ないました。

#### ・就労的支援コーディネーター

高齢者の個性を生かしながら個人の特性や希望に合った活動をコーディネートして、高齢者の社会参加等を促進することを目的に令和3年度はお助け隊の活動のマッチングや調査を中心として実施しました。マッチング件数は56件、新規利用者調査件数は12件でした。

また今後、高齢者の活躍の場を広げるため、介護施設等のボランティアのニーズ調査も実施しました。

#### ・小地域の高齢者ニーズの把握及び生活支援

地区社協の役員会等に出席し、地域住民の声を聞くことによって、住民の生活課題や資源の把握を行うことや日常生活の困りごと等を聞くことができました。

また住民の介護保険サービスや在宅福祉サービスで対応できない困りごとに対して、地域や各種団体等にて対応できるようにコーディネートしました。

### ③任意事業

#### ア 家族介護支援事業

在宅で寝たきりの高齢者並びに認知症高齢者の介護にあたっている家族介護者を対象に介護技術の習得や介護者相互の交流会を開催し、心身のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

回数	期 日	場 所	参加者	内 容
1	令和3年 4月13日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	オリエンテーション・情報交換会
2	令和3年 5月12日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	講義・実技「お気軽フィットネス」 浜田 純一 氏
3	令和3年 6月8日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	「在宅介護の実践技術について」 地域福祉担当・説明と介護技術について
4	令和3年 7月13日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	12	レクリエーション・交流会
5	令和3年 8月10日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	12	講義「熱中症について」 大塚製薬株式会社 堀口英明 氏
6	令和3年 9月14日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	レクリエーション・交流会
7	令和3年 10月12日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	レクリエーション・軽体操
8	令和3年 11月9日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	講義「福祉用具の活用方法について」 株式会社フロンティア 本間英亮 氏
9	令和3年 12月14日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	16	クリスマス会・交流会
10	令和4年 1月11日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	11	講義「災害に備えて」 大月市総務管理課防災担当 榎本・石丸氏
11	令和4年 2月8日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	レクリエーション・交流会
12	令和4年 3月8日	大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	茶話会・交流会

### ④高齢者生活支援事業

#### ア 家族介護用品支給事業（寝たきり老人等オムツ支給事業）

在宅のねたきり高齢者等の家庭にオムツを支給し、介護者の経済的負担の軽減を図

りました。8種類の組み合わせから対象者に合った種類を選び提供しました。

なお、配布に際しては、民生委員児童委員の皆様にご協力いただいています。

	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合計
年間延べ配布数	44	4	69	57	66	22	37	4	303

※昨年度に比べ、新規登録と入所等により地域ごとの増減はみられますが、合計月平均1名程の利用増となりました。

#### イ 高齢者訪問理美容助成金事業

寝たきり・心身の障害等の理由から、理容院や美容院に出向く事が困難な高齢者に対し在宅において理美容を行った場合、その費用の一部を助成する事業です。

助成金は、1回につき3,000円を上限に、一人当たり年3回を限度として実施しています。

登録者数	利用回数	助成金額合計
19名	37回	108,000円

※コロナ禍であり在宅での理美容を希望される方が、昨年より5名の利用者、13回の利用回数、助成額36,200円の増となりました。

#### ウ 車いす無料貸与事業（社協単独事業）（貸出期間は原則最長2週間）

市内に在住する高齢者や障がい者、または怪我などにより、一時的に車いすが必要になった方へ無料で貸出を行ないました。また、ボランティア活動や福祉教育などにおける研修用機材として、地域や学校などに無料で貸出を行ないました。

年間の利用状況は次のとおりです。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	7	9	7	5	6	4	9	9	8	7	5	14

合計 90件

## (2) 高齢者生きがい活動推進事業

### ①ツキフェス21（大ツキふれあいスポーツフェスティバル）

児童や高齢者、障がい児者、ボランティア等の年齢の違いや心身の状態の異なる全ての市民が一同に集い、ふれあいを深める場として事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

### ②老人大学運営事業

心身ともに明朗かつ強健な高齢者生活を樹立するために開設された老人大学の事務局として、高齢者福祉の増進に努めました。

・サークル数18部（学生239名）

①園芸部 25名 ②手芸部 14名 ③華道部 5名 ④書道部 15名

⑤詩吟部 11名 ⑥舞踊部 7名 ⑦大正琴部 7名 ⑧囲碁部 5名  
⑨茶道部 8名 ⑩短歌部 6名 ⑪社会部 19名 ⑫ダンス部 20名  
⑬料理部 7名 ⑭コーラス部 16名 ⑮カラオケ部 27名  
⑯フラダンス部 12名 ⑰水墨画部 11名 ⑱民謡部 8名

※感染予防等を実施し、5月から午前のサークル学習のみを実施しました。

- ・全体学習 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・年間行事 令和3年度第52期入学式と修了式は総合福祉センターにて縮小して実施しました。

※修学旅行、老大祭については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

### (3) 障害者社会参加促進支援事業

#### ①障がい者社会見学

障がい者の積極的な社会参加と交流を図る観点から社会見学を計画しましたが、例年参加者が多く遠方へのバス3台での事業となるので、参加者の安全、また新型コロナウイルス感染拡大防止のため、障害種別ごとの開催といたしました。

令和3年11月6日 身体障がい者部会：北杜市三代校舎見学とりんご狩り  
参加者 13名

令和3年11月28日 知的障がい者部会：県立博物館とテーブルマナー講習  
参加者 32名

#### ②ふれあい講演会（障がい者理解普及啓発活動事業）

障がい者への理解や障害者福祉に対する意識、啓発を図る観点から、ふれあい講演会、研修会を計画しましたが、会場に多くの一般の方の参加を含めた事業となるので、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

#### ③障がい者クリスマスのつどい

会員同士のふれあいを深めることを目的に普段、外出が困難な方でもだれでも参加できるように市総合福祉センターを利用し、クリスマスのつどいを計画しましたが、会場に100名前後の参加者を予定しており、会場ガイドラインに沿うこと、密になることが避けられないので、新型コロナウイルス感染拡大防止のため障害種別ごとの開催といたしました。

令和3年12月13日 障がい児部会：参加者 7家族  
児童へのクリスマスプレゼント準備など保護者意見交換会

#### ④障がい者ボウリング大会

障がいがあっても、誰でも楽しめるスポーツとして、ボウリング大会を開催し、障がい児者の健康維持と会員相互の交流を深めることを目的に計画しましたが、コロナ禍で



あり、他市事業所利用の参加者もあることから新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

⑤社会参加交流事業「ぐーちょきぱー」

心身に障がいのある在宅（外出や就労の機会が得られない）の方を対象に、年4回の交流会、また保護者の交流の場、意見交換の場として大月ネットワーク会議を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたしました。

⑥大月市障がい者福祉の会会報誌「おたより」発行

昨年と変わらず県内外の各種行事が中止となる中、外出の機会の少ない方やひとり暮らしの方など、会員同士の繋がりがなく相談相手がないなど孤独を感じるのではないかと、思いの吐露先や生活など困りごとの共有や相談先として、会報誌「おたより」を1回発行しました。

発行にあたり編集委員会を開催し、合計5回、6名延べ21名の方にご協力いただきました。紙面には、役員交代挨拶、市内障害者施設のインタビューとご案内、各部会の活動の説明、市への意見書提出について」などを掲載して会員に送付しました。

- ・その他、「富士ふれあいの村まつり」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

**(4) ふれあいのまちづくり事業**

大月市ふれあいのまちづくり事業は、住み慣れたまちで、高齢者や障害者、児童など誰もが安心して生活できる助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう福祉のまちづくりを目的に、地域のネットワークを利用し活動を展開しました。

令和3年度は、昨年に引き続き地区組織活動推進委員会（地区社協）を中心とした地域のネットワーク強化に重点をおいた取り組みを行ないました。

①地域住民の各種相談（心配ごと相談事業）

- ・行政及び様々な相談機関等と連携を図りながら相談に応じました。

②福祉活動、交流活動の啓蒙と展開

- ・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポート

社協職員が受けもつ地区担当制の配置により、地域と連携を密にし住民主体の地域福祉の推進を図りました。

③地域におけるボランティア活動に関する相談・登録斡旋及び養成研修

- ・各種ボランティア講座及び研修会の開催を行いました。（再掲、ボランティアセンターとの連携）

④地域とのネットワーク形成及び住民参加の福祉活動（見守り活動、サロン活動等）の支援

・ふれあい・いきいきサロンの推進

希望したサロンに職員派遣を年2回程度計画し、課題把握などに努めましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、訪問はあまり実施できませんでした。

・ふれあい・いきいきサロン代表者会議の開催

今回はコロナ禍でのサロン活動についての情報交換を行い、今後のサロン運営について協議しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回に分けて実施しました。

・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポートを行ないました。（再掲）

・友愛訪問活動による見守り活動を行いました。（再掲、継続実施）

**(5) 災害時要援護者登録制度事業**

災害発生時に自力または家族の力だけでは避難することが困難な方々（災害時要援護者）を、地域で日常から把握し、見守り・声掛け活動等を行い、一緒に避難が出来るような体制をとるための登録を本人からの申請制で登録を行い台帳の作成をしています。この台帳は、市との委託契約に基づき地域内の関係組織に情報提供させていただいています。

令和3年度末現在の登録者数は、次のとおりです。

地区名	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川
登録者	13名	4名	60名	12名	16名	22名	41名	25名

合計 193名

**(6) 生活困窮者自立支援事業**

大月市内に在住し、何らかの理由により生活を維持することが困難となった方に対して、就労支援や家計の見直し、ひきこもりの支援等、個々が必要としている様々なニーズに対し、各関係機関と連携を図りながら、相談者に寄り添い、自立相談支援を行ないました。

今年度も昨年と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯への総合支援資金（生活支援費）の特例貸付の延長や再貸付申請の際に本事業利用の義務化が継続となっていた為、新規相談者が増加しました。また特例貸付と一体的に支援することにより、当事者、当事者家族の支援体制強化を図りました。

今年度より、新たに家計改善支援事業、就労準備支援事業を受託し、それぞれの分野に特化した相談が必要な方の支援強化も図りました。また新型コロナウイルス感染拡大が長期化されている影響で住居確保給付金申請の相談や新型コロナウイルス感染

症生活困窮者自立支援金支給事業での就労相談支援など、困りごと解決のために支援を実施しました。

更に社協役員や関係団体協力の元、フードドライブ\*を実施し、126キロの食糧が集まりました。必要としている相談者に手渡すことができ、当事者の直接支援が実施できたことで、就労や自立に迅速に繋げる事も出来ました。

(\*＝主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集める。)

今年度の相談支援件数等は次のとおりです。

①自立相談支援事業

- 相談支援者数52名（新規27名）
- 年間延べ相談件数1,561件（うち、食糧支援件数24件）
- 住居確保給付金相談7件
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業6名

②家計改善支援事業

- 相談支援者数21名
- 年間延べ相談件数34件

③就労準備支援事業

- 相談支援者数2名
- 年間延べ相談件数15件

(7) 総合福祉センター管理運営事業

①総合福祉センターの全施設の利用状況

総合福祉センターについては、各施設とも使用目的に沿って、事業の実施や運営管理に工夫を施すなど、利用者の立場を最優先に運営を行いました。

令和3年度は、昨年を引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、239日を開館しました。

各施設の利用状況等は、次のとおりです。

施設名	室名等	利用回数(回)	利用人数(人)	備考
2階 児童母子福祉センター	子ども家庭総合支援センター	241	582	
	児童館	224	2,139	
	計		2,721	
3階 障害者福祉センター	栄養指導実習室外	181	1,391	会議室を含む。 研修室を含む
	マザーズルーム外	371	3,027	
	計		4,418	
4階 保健センター	保健運動指導室	152	2,129	
5階 老人福祉センター	和室(研修等)	17	405	
	浴室 (主に浴室利用者)	/	962	
	計		1,367	

6階 多目的ホール	大小会議室	254	4,160	
見学・行事		1	260	
合 計			15,055	開館 239日

## ②福祉自動車貸与事業

介護を必要とする高齢者や障がい者等を対象として、通院や買物などの利便性を図ることや旅行などの余暇活動などを充実させることを目的に、車イスのまま乗れる福祉車両やリフト付きの福祉車両を貸出す事業を実施しました。

年間の利用状況は次のとおりです。

### ● 福祉自動車（軽自動車2台・ワゴン車1台） (単位：人)

利用目的	通院	旅行	買物・その他	計
軽自動車2台利用数	91	0	3	94
ワゴン車1台利用数	18	1	18	37

合計 131人

## 4 県社協受託事業

### (1) 生活福祉資金貸付事業

山梨県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金貸付事業を行いました。資金の貸付による経済的な援助にあわせて、地域の民生委員が資金を借り受けた世帯の相談支援を行っています。

令和3年度は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活資金でお悩みの方々へ向けた緊急小口資金等の特例貸付を実施しました。

令和3年度の相談件数は延べ276件（内コロナ関係特例貸付は延べ243件）あり、申請件数は延べ81件、貸付実績額は34,700,000円でした。

## 5 共同募金事業

赤い羽根共同募金は「じぶんのまちを良くするしくみ」として、お寄せいただいたご寄付を山梨県共同募金会にて取りまとめを行い、各種福祉活動（子どもたち、高齢者、障がい者などを支援する様々な活動）や災害時支援等に役立てられるよう、各市町村へ配分されております。大月市においても配分金にて地域福祉活動事業を実施しております。

(共同募金は今年度集めた募金を来年度に配分する仕組みとなっております。)

大月市内においての令和3年度の共同募金実績額及び募金配分事業は次のとおりです。

## (1) 令和3年度赤い羽根共同募金（地区社会福祉協議会等からの募金実績状況）

令和3年度地区社会福祉協議会及び団体等の実績

地区名	金額（円）	地区名	金額（円）
笹子地区	231,500	瀬戸地区	211,600
初狩地区	325,890	猿橋地区	941,000
真木地区	344,364	富浜地区	807,200
大月地区	956,003	梁川地区	183,600
賑岡地区	692,325	事務局	452,134
七保地区	542,400	募金額合計	5,688,016

※各地区社協よりお願いした企業などの募金は大口募金として地区実績に含まれており  
ます。

## (2) 令和3年度共同募金配分金実施事業

項目	事業名	金額（円）
地域社会福祉事業	・社協だより・ボランティアだより発行事業（年4回発行）	306,000
あったかサービス事業	・ふれあいいきいきサロン推進事業（55か所へ助成）	780,000
重点配分事業	・ファーストスプーン事業（新生児51名へ配布）	200,000
市町村社協地域福祉活動事業	・地元愛醸成プロジェクト協力校事業（11校へ助成）	600,000
地区社協等小地域福祉活動事業	・老人憩いの家整備事業（14地区整備） ・地区社協活動推進事業（3地区へ助成）	1,800,000
地域福祉活動団体推進事業	・ボランティアサークル等育成事業（5団体）	250,000
歳末たすけあい事業費	・障がい児者等への贈呈事業（障害者福祉施設2施設）	150,000
合計金額		3,936,000

## 6 福祉金庫基金

### (1) 福祉金庫貸付事業

在宅高齢者福祉の充実、障害者及び低所得世帯の援護資金に供し、生活の助長福祉活動の推進を図ることを目的として行ないました。

より緊急性の高いケースに対応し、貸付限度額は5万円として実施しています。

本事業の活用によって、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るとともに、貸付を行うだけにとどまらず、対象となる方や家族の生活ニーズなどに対して総合的・継続的な相談支援を行なっています。

令和3年度においては、相談件数は0件でした。

## 7 介護保険事務運営

介護保険法や障害者総合支援法に基づく事業として、介護保険指定居宅介護支援事業（介護サービス計画）、介護保険指定居宅サービス事業（訪問介護、通所介護。）及び障害者居宅介護サービス事業の運営がなされており、各事業所の令和3年度実績は下記のとおりです。なお、介護保険事務運営は令和3年度より法人運営事業へ統合しました。

### (1) 事業所の実施状況

	事業所名と職員体制	実績内容
指定居宅サービス事業	(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション 「花さき」 【職員体制】 訪問介護員 (ホームヘルパー資格) ・常勤 2名 (うち障害担当1名) ・非常勤登録 8名 計10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護の利用者年間293人に対し、年間合計約3,486時間の介護を実施しました。</li> <li>・介護予防の利用者年間59人に対し、年間合計約285時間の介護を実施しました。</li> <li>・障害福祉サービス事業では、利用者年間84人に対し、年間合計約1,218時間の介護を実施しました。</li> </ul>
	(2) 通所介護事業所 デイサービスセンター 「やまゆり」 【職員体制】 ・管理者(兼務) 1名 ・生活相談員(兼務) 2名 ・看護職員 常勤 1名 (機能訓練指導員兼務) 非常勤 1名 ・介護職員 6名 常勤 6名 非常勤 0名 (うち運転兼務4名) ・機能訓練指導員 1名 ・送迎者運転手(非常勤) 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護者ならびに要支援等(利用者)年間利用者延7,431人(月平均約619.3人、一日平均約29.2人)の受入れをしました。営業日数は254日。</li> </ul> <p>※上記利用人数には、大月市介護予防日常生活支援総合事業通所型サービスを含む</p>
指定居宅介護支援事業	(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」 【職員体制】 介護支援専門員 (ケアマネージャー) ・常勤 5名 計 5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護者年間合計1,797件のケアプランを作成しました(月平均約149.8人)。</li> <li>・ケアマネージャー一人当たり、約30人を担当しました。</li> </ul>

## 8 介護保険訪問介護事業

(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

ア 介護保険分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護保険 延時間			合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		身体介護	生活援助	身体・生活 複合		
4月	26	135.5	36.5	169.0	341.0	13.1
5月	28	114.3	24.25	171.5	310.05	11.1
6月	27	134.7	27.25	169.25	331.2	12.3
7月	25	106.5	24.0	168.75	299.25	12.0
8月	22	95.3	25.0	163.5	283.8	12.9
9月	21	96.2	27.75	151.5	275.45	13.1
10月	25	97.0	24.75	161.5	283.25	11.3
11月	25	106.7	30.5	166.25	303.45	12.1
12月	24	101.3	31.5	164.75	297.55	12.4
1月	23	83.2	27.0	129.25	239.45	10.4
2月	23	70.6	37.5	114.5	222.6	9.7
3月	24	115.4	51.25	132.75	299.4	12.5
合計	293	1,256.7	367.25	1,862.5	3,486.45	11.9
1ヵ月平均	24.4	104.7	30.6	155.2	290.54	11.9
割合		36.1%	10.5%	53.4%	100%	

## イ 介護予防分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護予防 延時間		合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		予防 1	予防 2		
4月	5	13.0	15.0	28.0	5.6
5月	6	15.25	16.0	31.25	5.2
6月	6	15.0	14.0	29.0	4.8
7月	5	11.75	15.0	26.75	5.4
8月	6	15.0	13.0	28.0	4.7
9月	6	19.0	9.0	28.0	4.7
10月	5	15.75	9.0	24.75	5.0
11月	5	17.0	8.25	25.25	5.1
12月	5	10.0	13.0	23.0	4.6
1月	4	10.0	8.0	18.0	4.5
2月	3	11.5	0	11.5	3.8
3月	3	11.0	0	11.0	3.7
合計	59	164.25	120.25	284.5	4.8
1ヵ月平均	4.9	13.7	10.0	23.7	4.8
割合		57.7%	42.3%	100.00%	



ウ 障害者利用者分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	延時間			利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		障 害		合 計	
		身 体	家 事		
4月	8	34.5	64.75	99.25	12.4
5月	8	38.5	66.0	104.5	13.1
6月	7	39.0	60.25	99.25	14.2
7月	7	41.0	66.25	107.25	15.3
8月	7	49.0	61.25	110.25	15.8
9月	7	46.0	59.5	105.5	15.1
10月	7	47.0	64.75	111.75	16.0
11月	7	47.5	66.75	114.25	16.3
12月	7	45.0	72.25	117.25	16.8
1月	7	38.0	68.5	106.5	15.2
2月	6	11.0	59.5	70.5	11.8
3月	6	13.5	57.75	71.25	11.9
合 計	84	450.0	767.5	1217.5	14.5
1ヵ月平均	7	37.5	64.0	101.5	14.5
割 合	100.0%	37.0%	63.0%	100.0%	

## 9 介護保険通所介護事業

(1) 通所介護事業所 デイサービスセンター「やまゆり」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

月別	利用者数 (対象者)	延利用 者数	介護度等別						営業 日数	1日 平均
			要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
4月	71	633	82	250	130	72	83	16	22	28.7
5月	70	613	89	239	114	61	89	21	21	29.1
6月	70	610	99	244	90	68	85	24	22	27.7
7月	71	634	92	243	111	88	79	21	22	28.8
8月	69	664	94	262	120	84	79	25	22	30.1
9月	72	677	108	265	121	82	78	23	22	30.7
10月	72	658	107	268	123	69	70	21	21	31.3
11月	69	646	110	271	118	63	60	24	22	29.3
12月	71	581	89	239	99	59	70	25	20	29.0
1月	73	598	90	256	86	49	77	40	20	29.9
2月	70	471	69	198	77	29	66	32	17	27.7
3月	67	646	89	264	105	46	103	39	23	28.1
合計	845	7,431	1,118	2,999	1,294	770	939	311	254	29.2
1ヵ月平均	70.4	619.3	93.2	249.9	107.8	64.2	78.3	25.9	21.2	29.2
割合		100%	15.0%	40.4%	17.4%	10.4%	12.6%	4.2%		

## 10 介護保険居宅介護支援事業

(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

(単位：人)

月別	要介護者数	介 護 度 別					
		予防	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	155	18	47	35	30	23	2
5月	156	20	48	32	34	21	1
6月	151	20	49	29	30	22	1
7月	154	20	51	30	29	22	2
8月	149	20	48	28	29	23	1
9月	149	20	48	28	29	23	1
10月	141	20	38	29	29	23	2
11月	151	21	47	32	28	21	2
12月	149	21	49	31	27	19	2
1月	148	21	44	29	28	24	2
2月	142	18	43	29	27	23	2
3月	152	16	47	33	29	25	2
合 計	1797	235	559	365	349	269	20
月平均	149.8	19.6	46.6	30.4	29.1	22.4	1.7
割 合	100%	13.1%	31.1%	20.3%	19.4%	15.0%	1.1%

## 11 障害者サービス事業

### (1) 地域生活支援事業

#### ①移動支援事業

利用者が地域における自立生活及び社会参加ができるよう、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じ、外出時における移動の介護の援助を行います。令和3年度は、登録者数1名に対し、延べ利用71日の支援をさせていただきました。

## 12 地域支援事業

### (1) 地域支援事業

ケアマネージャー等との連携を図りながら、利用者とその家族への相談支援を行なうなど、地域福祉推進の視点で取り組みました。また、利用者と地域との関わりにも目を向け、福祉関係者等と連携を図り事業を実施しました。

#### ①介護予防・生活支援サービス事業通所型サービス

##### ア パワーアップ教室

要支援認定者や介護予防生活支援サービス事業対象者等を対象として、理学療法士の指導のもとで、ストレッチ、有酸素運動、簡単な器具を用いた運動等を集団指導で実施し、運動器の機能向上を図りました。

また、栄養士の指導のもとでは、低栄養状態の改善を目指した食事内容の講義、個別指導を行ないました。更には、歯科衛生士の指導のもと、日常的な口腔機能向上の訓練の指導、口腔清掃の指導を行ないました。

これらの教室では、要介護状態となることの予防、又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び心身機能の維持向上を図ることを目標に開催しました。

グループ	期 間	回数	利用者	男	女	延べ数
1	4月13日～9月30日	28回	5	0	5	129
2	10月7日～3月31日	28回	4	3	1	93
合 計		56回	9	3	6	222

※新型コロナウイルス感染拡大の予防対策3密（密閉・密集・密接）を回避、検温・手消毒する状況を徹底し事業を実施しました。

#### ②一般介護予防事業

##### ア ミニデイサービス

地域の公民館・集会所において（10地区）、レクリエーションをはじめ、趣味・創作活動、肩こり体操・腰痛運動を行い、健康への意識向上・生活習慣の改善を図り、生きがいをもって、外に出る意欲を高め、閉じこもりを防止することを目的に、ボランティア（おおつきお助け隊）の協力をいただく中で実施しました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	85	96	76	85	31	81	121	81	73	80	70	69	948

※新型コロナウイルス感染拡大の防止対策として、

8/10(水)から8/22(日)山梨県より施設利用自粛要請

8/18(水)から9/12(日)まん延防止等重点措置に従いその間は事業を中止としました。該当する8月～9月のミニデイ参加者全員(87名)に電話にて事業中止の説明、現在の状態の様子をうかがい、不要な外出自粛、手洗いなど感染予防策を促しました。また困りごとや相談が発生した際には電話にて対応しました。まん延防止等重点措置解除以降に中止となった事業の代替え日を設け新型コロナウイルス感染拡大の予防対策3密(密閉・密集・密接)を回避、検温・手消毒する状況を徹底し事業を実施しました。

#### イ 大つきチャレンジ倶楽部

多数の参加者が見込まれ新型コロナウイルス感染拡大の防止対策としての3密(密閉・密集・密接)の回避が困難との判断により中止しました。

問い合わせでは中止の説明を行ない不要な外出自粛、手洗いなど感染予防策を促しました。また運動不足にならないよう自宅でも体を動かす等のアドバイスをしました。

#### ウ 集いどころ「スマイル」

住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的とし、福祉センターを集いの場として、参加者の憩いの場、生きがいの場、生活の張合いの場になるよう、毎週火曜日、木曜日、金曜日に軽体操、趣味、作り物、レクリエーション、脳トレなどを実施しました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	12	12	11	10	5	8	14	13	13	13	13	14	138
実人数	43	46	46	43	39	39	51	53	55	57	45	47	564
延人数	120	123	116	96	50	88	167	156	155	154	113	144	1,482

※新型コロナウイルス感染拡大の防止対策として、

8/10(水)から8/22(日)山梨県より施設利用自粛要請

8/18(水)から9/12(日)まん延防止等重点措置に従いその間は事業を縮小又は中止しました。該当する8月～9月スマイル参加予約者全員に電話にて事業縮小又は中止の説明、現在の状態の様子をうかがい、不要な外出自粛、手洗いなど感染予防策を促しました。また困りごとや相談が発生した際には電話にて対応しました。

まん延防止等重点措置解除以降に中止となった事業の代替え日を設け新型コロナ

ウイルス感染拡大の予防対策3密（密閉・密集・密接）を回避、検温・手消毒する状況を徹底し事業を開催しました。

### 13 ふたば保育園事業

ふたば保育園の運営については、令和3年3月31日を以って閉園しました。令和3年4月中には全ての片付けや清掃等を行い、引き渡しをしました。